

8-1-7 白書委員会

1. 主な活動の記録

(1) 白書委員会等の開催

対外活動・白書合同委員会開催回数：4回

白書委員会WG開催回数：4回

業務効率化のため、委員会等の開催は、主にWeb会議およびメール審議にて実施した。

(2) 活動の目的

建設コンサルタントを広く国民一般に認識してもらうことを目的に、令和6年度「建設コンサルタント白書」（以下、「白書」とする）の作成・発行と令和7年度「白書」の骨子を作成する。

内容は、建設コンサルタントおよび協会の概要、建設コンサルタントを取り巻く状況、求められる役割とその多様性、および課題と今後の方向性、最終章に建設コンサルタンツ協会の活動を報告する。

なお令和6年度「白書」では、「3-3 新しいニーズへの建設コンサルタントの挑戦」や本部・支部の若手の会の記載内容の充実、「要望と提案」の構成見直しに対応した第4章の構成見直し等を行うなど、建設コンサルタント業界並びに建設コンサルタンツ協会の最新の動向や活動をタイムリーに反映することで、業界の魅力を発信し、若手など将来の担い手となる人材の関心を高めることに務めた。

2. 白書の作成方針

令和7年度「白書」作成の基本方針を以下に示す。

- (1) 令和6年度「白書」の基本方針を継承する。
- (2) 建設コンサルタントのさらなる魅力発信を行う。「3-3 新しいニーズへの建設コンサルタントの挑戦」の内容をさらに充実させ、アセットマネジメントなどの維持管理技術や建設コンサルタントの具体的な活動内容も紹介する。
- (3) 発行時期は令和7年8月末とする。
- (4) また、協会ホームページにも掲載する。
- (5) 概要版（ダイジェスト版）を作成する。

3. 白書の目次構成

令和7年度「白書」も過年度と同様、『要望と提案』との照合がとりやすい目次構成とする。

令和7年度「白書」の目次構成

第1章	建設コンサルタントの概要
1-1	建設コンサルタントの概要
1-2	建設コンサルタンツ協会の概要
1-3	健全な企業経営に向けて
1-4	建設コンサルタンツ協会の活動方針
第2章	建設コンサルタントを取り巻く状況
2-1	建設コンサルタントを取り巻く状況
2-2	公共事業関係費の推移
2-3	建設生産・管理システムの変化
2-4	サステナビリティ経営の実績
2-5	海外事業環境
第3章	建設コンサルタントの役割とその多様化
3-1	建設コンサルタントの役割
3-2	役割の多様化
3-3	新しいニーズへの建設コンサルタントの挑戦
第4章	建設コンサルタントの課題と今後の方向
4-1	はじめに「魅力ある業界を目指して」
4-2	担い手の確保・育成のための環境整備
4-3	技術力による選定
4-4	品質の確保・向上
4-5	受発注者協働による災害対応に向けた継続的な環境改善
4-6	DX推進の環境整備
4-7	適正な地位の確立
4-8	地域コンサルタントの活動領域の拡大
4-9	海外事業の現状・課題を踏まえた競争力の強化
第5章	建設コンサルタンツ協会の活動
5-1	建設コンサルタンツ協会の主な活動
5-2	災害時支援活動
5-3	技術者教育とその継続
5-4	業界の将来を担う若手技術者の主体的活動

4. 執筆・編集体制

執筆担当委員は、項別に担当委員会から推薦を受けた。編集担当委員は、項別に白書WG委員から任命した。

5. 作成部数等

令和6年度「白書」の発行部数は、8,400部である。また概要版は、建設技術フェアなどでの配布のため、4,000部を発行した、協会ホームページにも「白書」の本文並びに概要版を公開した。

6. 次年度の活動について

令和7年度「白書」の発行と令和8年度の骨子を作成する。建設コンサルタント並びに協会の魅力発信のため、事務局および関係委員会と協働して、さらなる充実を図る。

（白書委員会委員長 山林 佳弘）